

電磁波シールドめっき技術と新たな展開

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

◆日時:【LIVE受講】2026年4月16日(木) 13:00~16:30
【アーカイブ受講】2026年4月21日(火)~28日(火)

◆形式:ZoomによるWEB配信

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき38,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

★HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260474>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

◆講師:塚田理研工業(株) 第一製造部 技術課 課長 井上 智明 氏

【講座の趣旨】

現代の高機能部品には多くのプラスチック素材が使われています。プラスチックは複雑な形状で大量生産が可能で、部品の軽量化ができるために金属から代替されていますが、金属に比べ電気・熱伝導に劣り、電磁波シールド効果や放熱性がありません。

従来の電磁波シールドはグラウンドや放射ノイズに対して無電解めっきで充分でしたが、自動車では電子化によりノイズ範囲が拡大したことで、特に難しいとされる低周波磁界に対して、膜厚や金属種の再検討が必要になりました。また、放熱効果も求められるようになり、めっきの厚膜化に伴い装飾めっきで培った技術が活用されようとしています。

また、めっきの環境負荷についても誤解が大きくなっています。環境を汚すイメージがあるようですが、そういった歴史があるからこそ廃液、廃水処理が徹底されており、工場内で循環する水のリサイクルや、河川放流まで可能なレベルになっています。加工部品についても金属膜と樹脂素材とを剥離分離することで、分離回収による高付加価値リサイクルが可能になります。

【プログラム】

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 電磁波シールドめっきの歴史, 使われ方 2. 電磁波シールドめっきの原理, 効果の測定 3. 無電解めっきによる電磁波シールド 4. 電解めっきによる電磁波シールド 5. 電磁波シールドめっきの現在 6. 低周波磁界のシールド対策 | <ol style="list-style-type: none"> 7. 高周波のシールドめっき技術 8. シールドめっきできるプラスチック材料 9. 電磁波シールドめっきの品質管理 10. 金属の電磁波シールドめっきと複合化 11. 電磁波シールドめっきのこれから |
|---|---|

≪質疑応答≫

『電磁波シールドめっき』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒LIVE アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左記の欄に必要な事項をご明記の上、FAXでご送付ください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、受講券・請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>